

## 第5章 第2期商工業振興プランの管理・推進体制

かごしま経済の“熱度”を高める交流・連携密度を高め、4つの施策の柱の実効性を確保しながら、本プランを効果的に推進するため、「鹿児島市中小企業振興推進会議」と「熱度マネジメント会議」の2つの推進体制を整備します。

### 「鹿児島市中小企業振興推進会議」

#### ～本プラン全体のPDCAを機能させる

本プランの着実な推進に向けて、施策の実施状況や成果指標の達成状況等を確認し、施策の見直しや新たな施策展開等について大局的な視点から意見・提案を行います。

年1回の開催を予定します。

#### 【構成メンバー】

学識経験者、経済団体、行政等により構成

#### 【開催頻度】

年1回の定例開催を予定

#### 【内容(予定)】

- 各施策の実施状況の把握
- 前年度の成果指標の達成状況の確認と評価
- 達成状況に応じた施策等の見直し、新たな施策等の提案
- 「熱度マネジメント会議」の協議結果に関する情報共有 等

### 「熱度マネジメント会議」

#### ～鹿児島市商工業(を担う方々)の「熱度」を高め、重点プロジェクトの実効性を高める

鹿児島市商工業を担う方々(関係団体・関係機関・市内事業者等)が集い・交わり、多彩なコミュニティを生み・育み、本会議内外を通じて自発的・主体的なコミュニケーションが図られる場として運営します。

また、重点プロジェクトに位置付けられる施策の実効性を高める役割を担うとともに、重点プロジェクトのPDCAを担います。議論・取組の成果等は、「鹿児島市中小企業振興推進会議」で共有し、プラン全体の進捗管理にも活用します。

### 【構成メンバー】

重点プロジェクトの実施に直接関わる経済団体・関係機関、行政、大学、企業、その他団体等の実務者を中心に組成

### 【開催頻度】

年2回の定例開催を予定(定例会議)

定例会議に関連するサロンのプログラムを随時開催

※参画メンバーの喫緊の課題を持ち寄り、速やかな対応に繋げていただくようなディスカッションの場

※重点プロジェクトの実効性を高める具体的な取組を検討

※定例会議以外のサロンのプログラムも参加者主体で企画・運営(必要に応じて、市外のかごしま人材も巻き込みながら)

### 【内容(予定)】

- 参画メンバーの喫緊の課題の共有と、その解決に向けた取組の検討(定例会議)
- 重点プロジェクトに関する各主体の取組状況・取組課題等の共有(定例会議)
- 重点プロジェクトに関するより効果的な取組等の検討・展開(定例会議)
- それぞれの立場における問題意識・課題等の共有・意見交換等(サロン)
- その他、関連プログラムの企画・運営(サロン)

### ！ 熱度マネジメント会議～「熱度」を高めるための運営のポイント

- ① それぞれの立場での問題意識や課題などについて議論を交わすことを通じて、新たな気づきや明日への活力を実感できる緩やかなコミュニティを形成し、自発的・主体的なコミュニケーションが行われるような関係性を醸成していくことを重視します。
- ② 各重点プロジェクトについて、それぞれの立場でできることを持ち寄り、より効果的な進め方、必要な取組、具体的な連携方策等のアイデア出しや関係者目線のすり合わせを行い、「確かな取組実感」をともなう(各重点プロジェクトに関連する)各々の取組に繋げていくことを重視します。





